

上杉慎吉 じょうすぎ 憲法學者、法學博士。明治十一年八月十八日福井縣生れ、昭和四年四月七日歿（二六六一一九二九）。東京帝國大學法科大學卒。同大教授となり、穂積八束の後を継ぎ憲法講座を擔當。また、天皇主權主義の立場から美濃部達三の天皇機關説を批判、桐花會、七生社、經綸學堂等の結社を組織して國家主義運動に當る。

著書「暴風來」(大正八年十一月十五日洛陽堂)、
「國家新論」(大正十年九月二十五日敎文館)、
「スコット・ニヤリング著『世界を征服せん』の序」(米大帝國) (給葉) 世英譯、
大正十四年五月二十一日未來社)、
「憲法讀本」(昭和二年一月十五日日本評論社)、
「帝國憲法逐條講義」(昭和十年五月十五日日本評論社) 等。
北野豐治郎著「國體の本義と元寇の國法上の地位」(附上杉博士對美濃部博士論戰と其批判の批判) (昭和十二年一月二十八日大阪・北野研究所) 刊。